

## 技術開発本部研究発表会の開催

第93回技術開発本部研究発表会が11月5日に開催されました。今年度3回目となる発表会では6件名の発表が行われ、アドバイザーとして望月技術開発本部長を始め幹部のアドバイスをいただきました。特に海水関連の研究への質問が多く寄せられ、終始熱心な質疑がおこなわれました。最後に望月本部長より「研究発表は多くの人に聴いていただき、いろいろな意見を聴き、それを参考にして今後の研究に繋げてほしい」と締めくくられました。今年度は後2回の開催を計画しています。



左から 杉山、竹内、榊、渥美、黒神、林

### 第93回発表会・発表内容・発表者

テーマ	発表者
海外製CVケーブルの長期性能評価	電力技術研究所 配電チーム 黒神 政夫
海水利用に適した防塵・防汚の応用研究	エネルギー応用研究所 空調・熱供給チーム 渥美 朋也
送電鉄塔下におけるがいしANの振幅変動特性	電力技術研究所 送変電チーム 林 雅明
MOLB型SOFCの運転条件と性能評価	電力技術研究所 燃料電池チーム 榊 嘉範
ハロン分解システムに関する研究	エネルギー応用研究所 効率利用チーム 竹内 章浩
光学的手法による海域の水質特性評価	電力技術研究所 水理チーム 杉山 陽一

## 後藤さんが博士号取得

土木建築部 水力グループ 後藤さん

土木建築部 水力グループの後藤孝臣さんは、平成13年11月21日に名古屋大学より博士号(工学)を授与しました。博士号は、研究などに関する論文を数多く発表し、独創的な業績をあげ、これらが学術・技術の進歩、発展に貢献を果たしたと認められたものに授与されるものです。

後藤さんは、研究所在籍以来、長年続けてきた研究を「堰堤からの土砂排出と河道変化に関する研究」と題する論文にまとめ発表しました。この論文に発表された研究成果は、当社のダム・堰堤の保守・運用に寄与するとともに、多くの研究者に高く評価されています。

後藤さんは、「研究所在籍時から、長年にわたって携わってきた研究業務が実をむすび、それが学位に繋がったことが大変うれしい。また、これまで携わってきた私の研究業務に指導・配慮いただいた電力技術研究所、土木建築部、水力保守関係の方々に感謝する次第です」とその喜びと感謝の気持ちを表しています。



## 日本電気協会 澁澤賞を受賞

電力技術研究所 総括チーム 清水さん  
名古屋支店 半田電力センター 宮崎さん

電力技術研究所 総括チームの清水雅仁さんと名古屋支店半田電力センター送電課の宮崎真一さんは、平成13年11月3日に日本電気協会より第46回澁澤賞を授与されました。この澁澤賞は、電気保安について有効な機械・器具の発明工夫をされた方、また、永年にわたり電気保安の確保に優れた貢献をされた方に授与されるもので、電力分野では権威ある賞として知られています。両氏は、アルミ覆鋼線に亜鉛被覆を施すことにより耐雷性能を約2倍に向上させた「耐雷架空地線」を住友電気工業(株)とともに開発、500kV越美幹線に適用した功績が認められ、受賞されました。

近年では、送電線を雷から保護するための架空地線に光ファイバを内蔵したOPGWが広く用いられ、架空地線の多機能化とともに設備の信頼度向上に対する要求が高まっており、この研究成果は電力供給の高信頼度化に対して大きく貢献するものです。清水さんは、「これまでの研究成果が評価され、大変うれしい。今後の研究活動の励みとしたい」と受賞の喜びを語っています。

